

大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校 情報提供資料

専門学校等における情報提供等への取組みに関するガイドラインに基づき、大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校の情報を以下のとおり提供致します。

1. 学校の概要、目標および計画

(1) 概要

- 【学園名称】 学校法人 大原学園 理事長 中川和久
【学校名称】 大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校 校長 青木竜太
【所在地】 ①学園本部 〒101-8352 東京都千代田区西神田 1-2-10 TEL 03-6740-0008
②学校 〒190-0014 東京都立川市緑町 4-8 TEL 042-528-8023
【創立】 1957年東京水道橋に大原簿記学校を開校し、1979年に学校法人大原学園を設立。
【設置校等】 グループ校総数 107校 (2017年4月1日現在)
①大原学園設置校[79校] 教職員総数 1,810名

■北海道 4校

札幌 大原簿記情報専門学校札幌校
札幌 大原医療福祉専門学校
札幌 大原法律公務員専門学校
函館 大原簿記公務員情報医療専門学校函館校

■東北 4校

盛岡 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校
盛岡 大原スポーツ公務員専門学校盛岡校
山形 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校
山形 大原スポーツ公務員専門学校山形校

■関東 29校

水道橋 大原大学院大学(会計専門職大学院)
水道橋 大原学園高等学校(通信制・通学型高校)
府中 府中ひばり幼稚園(年少・年中・年長)
水道橋 大原日本語学院(日本語学校)
水道橋 大原簿記学校
水道橋 東京ホテル・トラベル学院専門学校
水道橋 大原医療秘書福祉保育専門学校
水道橋 大原法律専門学校
水道橋 東京アニメーター学院専門学校
池袋 大原情報ビジネス専門学校
立川 大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
町田 大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校
横浜 大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校
横浜 大原医療秘書福祉保育専門学校横浜校
横浜 大原法律公務員専門学校横浜校
千葉 大原簿記公務員専門学校千葉校
千葉 大原医療秘書福祉専門学校千葉校
津田沼 大原簿記公務員医療情報ビジネス専門学校津田沼校

■北陸 8校

福井 大原簿記法律専門学校福井校
福井 大原テクノデザインアート専門学校
福井 大原スポーツ医療福祉専門学校
福井 大原キャリアビジネス&ペット専門学校
金沢 大原簿記法律観光専門学校金沢校
金沢 大原情報デザインアート専門学校金沢校
金沢 大原美容&ビューティー・ブライダル専門学校
金沢 大原医療福祉・製菓&スポーツ専門学校

■関西 17校

新大阪 大原簿記専門学校大阪校
新大阪 大原法律公務員&スポーツ専門学校大阪校
新大阪 大阪保育こども教育専門学校
新大阪 大阪歯科衛生学院専門学校
難波 大原簿記法律専門学校難波校
難波 大原情報デザインアート専門学校
難波 大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校難波校
難波 大原外語観光&ブライダルビューティー専門学校
梅田 大原簿記法律専門学校梅田校
梅田 大原医療福祉製菓専門学校梅田校
神戸 大原簿記専門学校神戸校
京都 大原簿記法律専門学校京都校
京都 大原スポーツ&メディカル専門学校京都校
和歌山 大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校
和歌山 大原情報医療福祉専門学校和歌山校
姫路 大原簿記情報法律専門学校姫路校
姫路 大原医療福祉&スポーツ保育専門学校姫路校

■九州 11校

福岡 大原簿記情報専門学校福岡校

柏 大原簿記法律専門学校柏校
大 宮 大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校
大 宮 大原医療秘書福祉専門学校大宮校
大 宮 大原こども専門学校
大 宮 大原法律公務員専門学校大宮校
水 戸 大原簿記情報公務員専門学校水戸校
水 戸 大原医療福祉専門学校水戸校
宇都宮 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校宇都宮校
宇都宮 大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校
高 崎 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校
高 崎 大原スポーツ公務員専門学校高崎校

■甲信越 6校

甲 府 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校甲府校
甲 府 大原スポーツ公務員専門学校甲府校
長 野 大原簿記情報ビジネス医療専門学校
長 野 大原スポーツ公務員専門学校
松 本 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校松本校
松 本 大原スポーツ公務員専門学校松本校

②大原グループ関連校（28校）

■東 北 3校

仙 台 仙台大原簿記情報公務員専門学校
仙 台 仙台大原公務員ゼミナール
仙 台 仙台大原ライセンススクール

■関 東 4校

水道橋 大原予備校
早稲田 資格の大原 早稲田校
新 宿 資格の大原 新宿校
横 浜 資格の大原 日吉校

■甲信越 2校

新 潟 大原簿記公務員専門学校新潟校
新 潟 大原医療秘書専門学校新潟校

■北 陸 1校

富 山 富山大原簿記公務員医療専門学校

福 岡 大原スポーツ公務員専門学校福岡校
福 岡 大原保育医療福祉専門学校福岡校
小 倉 大原簿記公務員専門学校小倉校
小 倉 大原医療福祉製菓専門学校小倉校
八 幡 大原自動車・スポーツ専門学校
大 分 大原簿記公務員専門学校大分校
大 分 大原医療介護福祉専門学校大分校
熊 本 大原簿記情報専門学校熊本校
熊 本 大原スポーツ公務員専門学校熊本校
熊 本 大原保育医療福祉専門学校熊本校

■東 海 15校

静 岡 大原簿記情報医療専門学校静岡校
静 岡 大原法律公務員専門学校静岡校
静 岡 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校静岡校
浜 松 大原簿記情報医療専門学校浜松校
浜 松 大原法律公務員専門学校浜松校
浜 松 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
沼 津 大原公務員医療観光専門学校沼津校
沼 津 大原介護福祉専門学校沼津校
名古屋 大原簿記情報医療専門学校
名古屋 大原法律公務員専門学校
名古屋 大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
岐 阜 大原簿記医療観光専門学校岐阜校
岐 阜 大原法律公務員専門学校岐阜校
津 大原簿記医療観光専門学校津校
津 大原法律公務員専門学校津校

■四 国 1校

松 山 大原簿記公務員専門学校愛媛校

■九州・沖縄 2校

宮 崎 大原簿記公務員専門学校宮崎校
那 覇 沖縄大原簿記公務員専門学校

③大原グループ研修所（3ヶ所）

川崎 大原学園登戸研修所 菅平 大原菅平ビガークラブ 富士宮 大原富士宮ビガークラブ

(2) 教育方針「専門課程（高卒・短大卒・四大卒対象）」

- 校訓 『感奮興起』、感奮は感動して奮い立つ意味を持ち、心の躍動を表します。興起は興味を持って立ちあがる意味を持ち、身体の躍動を表します。
- 目的 『簿記、税務、情報処理、法律、行政、医療、保育、福祉、スポーツ、製菓、美容、歯科衛生、自動車整備並びにこれらのビジネス等に関わる教育及び人格の陶冶を行い、地域社会で有為な人材を育成する』ことを目的としています。

■三段階教育法

大原学園では、入学から卒業までの全期間をもって完結する1つのストーリーと考え、教育プログラムを三段階（四期）に分けて構成しております。

★第一段階『成功体験期』

初めて専門教育を受ける学生が、卒業までの学習を続けられる自信をつける期間であり、各コースでの短期目標を達成することで「やればできる」という成功体験を、身を以て体験し、次のステップに向けてのモチベーションを高める期間となります。

★第二段階前期『専門学習期』

成功体験期で学習内容を絞り込んだ学習から、資格難易度の高度化、学習科目の多科目化、より実践に近い技術の習得など、コースの特色に合わせた本格的な学習を通して、高度な知識の定着と技術の習得を目的とする期間となります。

★第二段階後期『実践期』

専門学習期までに身につけた高度な知識や技術を実践に結びつける期間であり、最新実務の知識や技術を学び、実践的な学習や演習、校外実習、インターンシップ等を通じて、目標としている就職先で必要となる実践力を身につける期間となります。

★第三段階『入社準備（PCP）期』

専門性の総仕上げ、総まとめを行い、入社後には即戦力として活躍できるように最終仕上げを行う期間であり、これにより高い実践力に磨き上げて、入社後にスムーズなスタートを切れるよう教育を行う期間となります。

(3) 沿革

1957(昭和 32 年)	各種学校・大原簿記学校を創立	2004(平成 16 年)	梅田校
1976(昭和 51 年)	専修学校・大原簿記学校に組織変更		医療福祉製菓梅田校
1979(昭和 54 年)	準学校法人・大原学園に組織変更	2005(平成 17 年)	立川校
1981(昭和 56 年)	大阪校を開校（以下「開校」を略する。）	2006(平成 18 年)	大原大学院大学を開学
1982(昭和 57 年)	学校法人・大原学園に組織変更		医療秘書福祉大宮校
	府中ひばり幼稚園を開園		保育医療福祉福岡校
1985(昭和 60 年)	横浜校	2007(平成 19 年)	医療秘書福祉保育横浜校
1987(昭和 62 年)	札幌校		福井校
1989(平成元年)	池袋校	2009(平成 21 年)	大原学園高等学校
1990(平成 2 年)	菅平校		千葉校
	福岡校		長野校(菅平校移転)
1991(平成 3 年)	津田沼校		大阪歯科衛生学院
	大宮校		スポーツ&メディカルヘルス難波校
1995(平成 7 年)	法律東京校		スポーツ&メディカル京都校
1996(平成 8 年)	柏校		和歌山校
1997(平成 9 年)	町田校	2010(平成 22 年)	函館校
	法律公務員大宮校	2011(平成 23 年)	高崎校
1998(平成 10 年)	法律公務員&スポーツ大阪校		金沢校
1999(平成 11 年)	医療福祉札幌校	2012(平成 24 年)	宇都宮校
	法律公務員横浜校	2013(平成 25 年)	水戸校
2001(平成 13 年)	大阪保育こども教育校		昴自動車・スポーツ八幡校
	神戸校	2014(平成 26 年)	大分校
2002(平成 14 年)	法律公務員札幌校	2015(平成 27 年)	盛岡校

2003(平成 15 年)	医療秘書福祉保育東京校	2016(平成 28 年)	松本校
	京都校		姫路校
	スポーツ公務員福岡校	2017(平成 29 年)	甲府校
	簿記公務員小倉校		熊本校
	大原日本語学院		山形校
	簿記法律難波校		東京ホテル・トラベル校
	情報デザインアート難波校		東京アニメ校

2. 各学科の教育

(1) 入学定員等

学科名	入学定員	総定員
経理ビジネス学科 (2 年制)	76 名	152 名
情報ビジネス学科 (2 年制)	37 名	74 名
会計専攻学科 (1 年制)	36 名	36 名
医療事務学科 (2 年制)	38 名	76 名
公務員学科 (2 年制)	156 名	312 名
公務員学科 (1 年制)	78 名	78 名
スポーツ学科 (2 年制)	37 名	74 名
こども保育学科 (2 年制)	80 名	160 名
保育専攻学科 (1 年制)	38 名	38 名
介護福祉学科 (2 年制)	35 名	70 名
合 計	611 名	1070 名

(2) 受入方針

■入学資格

本校の入学資格は、次のとおりとする。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 (通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- ③ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 修業年限が 3 年以上の専修学校の高等課程を修了した者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 (旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- ⑧ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本校における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑨ 本校の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

■入学時期

本校の入学時期は、毎年4月1日とする。

■入学手続き・許可

本校の入学手続きは、次のとおりとする。

- ①本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書その他の書類に必要事項を記載して、入学選考料を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- ②前号の手続きを終了した者に対して書類審査または必要に応じて試験を行い、入学者を決定する。
- ③本校に入学を許可された者は、入学許可の日から2週間以内に入学金を添え手続きをとらなければならない。

(3) カリキュラム

- ① 経理ビジネス学科（2年制）
総履修時間 2,000 時間（各学年 1,000 時間） 週 25 時間
- ② 情報ビジネス学科（2年制）
総履修時間 2,000 時間（各学年 1,000 時間） 週 25 時間
- ③ 会計専攻学科（1年制）
総履修時間 1,000 時間 週 25 時間
- ④ 医療事務学科（2年制）
総履修時間 2,000 時間（各学年 1,000 時間） 週 25 時間
- ⑤ 公務員学科（2年制）
総履修時間 2,000 時間（各学年 1,000 時間） 週 25 時間
- ⑥ 公務員学科（1年制）
総履修時間 1,000 時間 週 25 時間
- ⑦ スポーツ学科（2年制）
総履修時間 2,000 時間（各学年 1,000 時間） 週 25 時間
- ⑧ こども保育学科（2年制）
総履修時間 1,725 時間（1年次 875 時間、2年次 850 時間） 週 25 時間
- ⑨ 保育専攻学科（1年制）
総履修時間 1,000 時間 週 25 時間
- ⑩ 介護福祉学科（2年制）
総履修時間 2,044 時間（1年次 1,020 時間、2年次 1,024 時間） 週 25 時間

(4) 授業内容および年間の授業計画

経理ビジネス学科2年制(1年次)

1 授業時間は50分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
ビジネスコミュニケーション演習	必	40	1
一般教養	必	60	2
計算実務	必	60	2
ビジネス教養	必	40	1
一般教養基礎知識	必	40	1
プレゼンテーション基礎知識	必	20	1
経営学概論	必	20	1
簿記 簿記通論	選1	90	2
簿記 簿記原理	選1	90	2
簿記 3級総合	選1	60	2
簿記 初等工業会計論	選2	50	2
簿記 初等原価計算論	選2	50	2
簿記 帳簿組織論	選2	50	2
簿記 会社会計原論	選2	50	2
簿記 2級総合	選2	40	1
簿記 高等原価計算論	選3	50	2
簿記 高等工業会計論	選3	50	2
簿記 会計学	選3	50	2
簿記 高等商業簿記論	選3	50	2
簿記 1級総合	選3	40	1
アプリケーション基礎知識	選4	40	1
OA概論基礎	選4	40	1
ネットワーク基礎知識	選4	40	1
OA基礎知識	選4	40	1
オフィス Word 基礎	選4	40	1
オフィス Word 活用	選4	40	1
マーケティング実習	選5	20	1
マーケティング概論	選5	20	1
販売サービス実習	選5	20	1
ビジネス実務法務演習	選5	20	1
マナー基礎知識	選5	20	1
マナー接遇基礎	選5	20	1
マナー接遇応用	選5	20	1
色彩学	選5	20	1
デザイン・色彩学	選5	20	1
色彩学・装飾学	選5	20	1
オフィス Word 基礎	選5	40	1
オフィス Word 活用	選5	40	1
情報処理システム	選6	60	2
情報処理概論	選6	60	2
プログラム設計	選6	60	2
アセンブラ言語	選6	60	2
コンピュータ基礎知識	選7	50	2
ソフトウェア	選7	50	2
ハードウェア	選7	50	2
オフィス Excel 基礎	選7	50	2
オフィス Excel 活用	選7	40	1
販売常識・販売技術	選7	20	1
販売事務・商品知識	選7	20	1

販売士 3 級総合	選 7	2 0	1
簿記論 (特殊商品売買)	選 8	4 0	1
簿記論 (帳簿組織)	選 8	4 0	1
簿記論 (製造会計)	選 8	4 0	1
財務諸表論 (基礎理論)	選 8	4 0	1
財務諸表論 (商規)	選 8	4 0	1
財務諸表論 (財規)	選 8	4 0	1
消費税法 (概要)	選 8	2 0	1
消費税法 (基礎)	選 8	2 0	1
公認会計士 簿記上級	選 9	9 0	3
公認会計士 財務諸表論入門	選 9	3 0	1
公認会計士 管理会計論上級	選 9	6 0	2
法学概論	選 9	3 0	1
公認会計士 商法入門	選 9	3 0	1
公認会計士 証券取引法入門	選 9	3 0	1
監査論入門	選 9	3 0	1
公認会計士 監査論基礎	選 9	3 0	1
公認会計士 監査論基礎Ⅱ	選 9	3 0	1
公認会計士 租税法基礎	選 9	3 0	1
公認会計士 経営学基礎	選 9	3 0	1
公認会計士 総合演習	選 9	9 0	3
英語	選 1 0	1 2 0	3
体育	選 1 0	6 0	2
合 計		1 0 0 0	2 5

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	2 8 0 時間
選択科目	選 1 (2 4 0 時間) 選 2・4・5 のいずれかを選択 (2 4 0 時間) 選 6・7・8・1 0 から選択 (2 4 0 時間以上)	7 2 0 時間
	選 2 (2 4 0 時間) 選 3・4・5 のいずれかを選択 (2 4 0 時間) 選 6・7・8・1 0 から選択 (2 4 0 時間以上)	
	選 2 (2 4 0 時間) 選 9・1 0 から選択 (4 8 0 時間以上)	
合計		1 0 0 0 時間

経理ビジネス学科2年制（2年次）

1 授業時間は50分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
一般教養	必	40	1
ビジネス教養	必	40	1
一般教養基礎知識	必	40	1
計算実務	必	160	3
面接試験対策Ⅱ	選1	40	1
ビジネスマナー	選2	120	3
ビジネス実務	選2	120	3
金融概論	選3	60	2
金融構造論	選3	60	2
金融市場論	選3	60	2
金融アドバイザー	選3	60	2
オフィス基礎	選4	80	2
オフィス活用	選4	80	2
パソコン実習	選4	80	3
基本情報総合	選5	40	1
CASL	選5	40	1
C言語基礎	選5	40	1
C言語応用	選5	40	1
アルゴリズム	選5	40	1
BASICプログラミング	選5	40	1
総合演習Ⅸ（接遇論マナー実践）	選6	90	3
接客応対マナー	選6	90	3
簿記会計	選7	90	3
総合演習（ワープロ理論・実習）	選7	90	3
マーケティング実習	選8	60	2
マーケティング概論	選8	60	2
給与計算実務	選9	60	2
経理事務総合	選9	60	2
プログラミングⅡ	選10	80	2
システム設計	選10	80	2
システム設計演習	選10	80	2
システム開発実習	選10	80	2
プレゼンテーション概論	選10	80	2
卒業研究	選10	80	2
簿記論（本支店会計）	選11	60	2
簿記論（推定簿記）	選11	60	2
簿記論総合演習	選11	60	2
財務諸表論（財規Ⅱ）	選11	60	2
財務諸表論（応用理論）	選11	60	2
財務諸表論総合演習	選11	60	2
消費税法（概要）	選11	180	4
消費税法（基礎）	選11	180	4
法人税法（概要）	選11	180	4
法人税法（基礎）	選11	180	4
相続税法（概要）	選11	180	4
相続税法（基礎）	選11	180	4
公認会計士 簿記上級Ⅱ	選12	90	2
公認会計士 財務諸表論上級	選12	90	2

公認会計士財務諸表論上級Ⅱ	選12	90	2
公認会計士 商法上級	選12	60	2
公認会計士 証券取引法上級	選12	60	2
公認会計士 監査論上級	選12	60	2
公認会計士 監査論上級Ⅱ	選12	60	2
公認会計士 租税法基礎	選12	60	2
公認会計士 租税法上級	選12	60	2
公認会計士 経営学基礎	選12	30	1
公認会計士 経営学上級	選12	30	1
公認会計士 総合演習Ⅱ	選12	90	2
英語	選13	120	3
体育	選13	60	2
経営学概論	選13	60	2
簿記 1級総合	選13	60	2
簿記 高等商業簿記論	選13	60	2
簿記 会计学	選13	60	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	280時間
選択科目	選1・2・3・4・13から選択（240時間以上） 選6（180時間） 選7（180時間） 選8・9のいずれかを選択（120時間）	720時間
	選1・5・6・7・13から選択（240時間以上） 選10（480時間）	
	選9（120時間） 選11・13から選択（600時間以上）	
	選9（120時間） 選12・13から選択（600時間以上）	
合計		1000時間

情報ビジネス学科2年制（1年次）

1 授業時間は50分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
ビジネスコミュニケーション演習	必	40	1
一般教養	必	60	2
計算実務	必	60	2
ビジネス教養	必	40	1
一般教養基礎知識	必	40	1
プレゼンテーション基礎知識	必	20	1
経営学概論	必	20	1
簿記 簿記通論	選1	90	2
簿記 簿記原理	選1	90	2
簿記 3級総合	選1	60	2
簿記 初等工業会計論	選2	50	2
簿記 初等原価計算論	選2	50	2
簿記 帳簿組織論	選2	50	2
簿記 会社会計原論	選2	50	2
簿記 2級総合	選2	40	1
簿記 高等原価計算論	選3	50	2
簿記 高等工業会計論	選3	50	2
簿記 会计学	選3	50	2
簿記 高等商業簿記論	選3	50	2
簿記 1級総合	選3	40	1
アプリケーション基礎知識	選4	40	1
OA概論基礎	選4	40	1
ネットワーク基礎知識	選4	40	1
OA基礎知識	選4	40	1
オフィスWord基礎	選4	40	1
オフィスWord活用	選4	40	1
マーケティング実習	選5	20	1
マーケティング概論	選5	20	1
販売常識・販売技術	選5	20	1
販売事務・商品知識	選5	20	1
経営常識	選5	20	1
販売士2級総合	選5	40	1
販売技術実習	選5	20	1
カラーコーディネート基礎知識	選5	20	1
カラーコーディネート応用	選5	20	1
カラーコーディネート3級総合	選5	40	1
情報処理システム	選6	60	2
情報処理概論	選6	60	2
プログラム設計	選6	60	2
アセンブラ言語	選6	60	2
コンピュータ運用知識	選7	50	2
ソフトウェア	選7	50	2
ハードウェア	選7	50	2
文書実務技能	選7	50	2
総合演習（ワープロ理論・実習）	選7	40	1
英語	選8	120	3
体育	選8	60	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	280時間
選択科目	選1 (240時間) 選2・4・5のいずれかを選択 (240時間) 選6・7・8から選択 (240時間以上)	720時間
	選2 (240時間) 選3・4・5のいずれかを選択 (240時間) 選6・7・8から選択 (240時間以上)	
合計		1000時間

情報ビジネス学科 2年制 (2年次)

1 授業時間は 50 分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
一般教養	必	40	1
ビジネス教養	必	40	1
一般教養基礎知識	必	40	1
計算実務	必	160	3
面接試験対策Ⅱ	選1	40	1
ビジネスマナー	選2	120	3
ビジネス実務	選2	120	3
金融概論	選3	60	2
金融構造論	選3	60	2
金融市場論	選3	60	2
金融アドバイザー	選3	60	2
オフィス基礎	選4	80	2
オフィス活用	選4	80	2
パソコン実習	選4	80	3
基本情報総合	選5	40	1
CASL	選5	40	1
C言語基礎	選5	40	1
C言語応用	選5	40	1
アルゴリズム	選5	40	1
BASICプログラミング	選5	40	1
総合演習Ⅸ (接遇論マナー実践)	選6	90	3
接客対応マナー	選6	90	3
簿記会計	選7	90	3
総合演習 (ワープロ理論・実習)	選7	90	3
マーケティング実習	選8	60	2
マーケティング概論	選8	60	2
給与計算実務	選9	60	2
経理事務総合	選9	60	2
プログラミングⅡ	選10	80	2
システム設計	選10	80	2
システム設計演習	選10	80	2
システム開発実習	選10	80	2
プレゼンテーション概論	選10	80	2
卒業研究	選10	80	2
英語	選11	120	3
体育	選11	60	2
経営学概論	選11	60	2
簿記 1級総合	選11	60	2
簿記 高等商業簿記論	選11	60	2
簿記 会計学	選11	60	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	280時間
選択科目	選1・2・3・4・11から選択（240時間以上） 選6（180時間） 選7（180時間） 選8・9のいずれかを選択（120時間）	720時間
	選1・5・11から選択（480時間以上） 選10（240時間）	
合計		1000時間

医療事務学科 2 年制（1 年次）

1 授業時間は 5 0 分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
医療請求事務Ⅰ	必	60	2
医療請求事務Ⅱ	必	60	2
医学基礎知識	必	50	1
医療関連法規	必	50	2
病院管理論	必	40	1
病院管理論Ⅰ	必	50	1
病院管理論Ⅱ	必	50	1
病院実習Ⅰ	必	50	1
医療保障	必	50	1
臨床医学の基礎知識	必	50	1
検査学知識	必	50	1
薬理学知識	必	50	1
医療秘書概論	必	40	1
手話実践	必	40	1
電卓技能	必	40	1
漢字・一般常識	必	40	1
救急法実習	必	40	1
医療請求事務Ⅲ	選1	100	2
病院実習	選1	100	2
医事コンピュータ実習	選2	30	1
コミュニケーション概論	選2	30	1
患者看護論	選2	30	1
ソフトウェアⅠ	選3	30	1
ハードウェアⅠ	選3	20	1
情報処理関連知識	選3	50	1
プログラム設計	選3	45	1
アセンブラ言語	選3	45	1
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	810時間
選択科目	選1のうちいずれか1つ	190時間
	選2	
	選3	
合計		1000時間

医療事務学科 2 年制（2 年次）

1 授業時間は 5 0 分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
公費負担医療知識	必	50	1
社会保険基礎論	必	50	1
老人保健制度	必	50	1
介護保険制度論	必	50	1
医療用語	必	50	1
医学一般	必	50	1
診療録管理概論	必	50	1
ボランティア概論	必	60	2
病院研究	必	40	1
病院実習Ⅱ	必	60	2
プレゼンテーション基礎知識	必	40	1
ビジネスマナー	必	90	2
マナー接遇基礎	必	90	2
接遇論マナー実践	必	90	2
商業簿記論	選1	30	1
簿記原理	選1	30	1
簿記通論	選1	60	2
簿記 3級総合	選1	60	2
情報処理概論	選2	60	2
アセンブラ言語	選2	60	2
プログラム設計	選2	60	2
オフィスExcel基礎	選3	60	2
オフィスExcel活用	選3	60	2
表計算ソフト実習	選3	60	2
調剤報酬請求事務Ⅰ	選4	60	2
医薬品知識	選4	60	2
調剤報酬請求事務Ⅱ	選4	60	2
秘書実務	選5	60	2
医療秘書実務	選5	60	2
受付接遇概論	選5	60	2
こころとからだのしくみと生活支援	選6	60	2
ケア計画基礎論	選6	30	1
介護保険制度論	選6	30	1
老化、認知症、障害の理解	選6	60	2
関連法規概論	選7	90	3
病院システム概論	選7	90	3
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	820時間
選択科目	選1～7のいずれかを選択	180時間
合計		1000時間

会計専攻学科 1 年制（1 年次）

1 授業時間は 5 0 分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
一般教養	必	90	2
計算実務	必	90	2
税理士課程消費税法	選1	250	5
税理士課程財務諸表論	選1	250	5
税理士課程簿記論	選1	250	5
税理士課程財務諸表論応用講義	選1	200	5
税理士課程簿記論応用講義	選1	200	5
税理士課程消費税法応用講義	選1	200	5
税理士課程法人税法基礎講義	選1	200	4
税理士課程相続税法基礎講義	選1	200	4
給与計算実務	選2	30	1
経理事務総合	選2	30	1
マーケティング概論	選2	60	2
簿記会計	選2	30	1
総合演習（ワープロ理論・実習）	選2	30	1
公認会計士課程財務会計論応用講義	選3	200	5
公認会計士課程管理会計論応用講義	選3	200	5
公認会計士課程企業法応用講義	選3	160	4
公認会計士課程監査論応用講義	選3	160	4
公認会計士課程租税法	選3	90	3
公認会計士経営学	選3	90	3
公認会計士論文式対策講義	選3	50	1
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	180時間
選択科目	選1（820時間以上）	820時間
	選1（640時間以上）	
	選2（180時間）	
	選3（820時間以上）	
	選2（180時間）	
合計		1000時間

公務員学科2年制(1年次)

1 授業時間は50分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
基礎言語Ⅰ(国語総合)	必	30	1
基礎言語Ⅱ(文章読解)	必	40	2
基礎言語Ⅲ(文章表現)	必	30	1
基礎社会Ⅰ(政治)	必	60	3
基礎社会Ⅱ(経済)	必	40	2
基礎社会Ⅶ(社会時事)	必	40	2
基礎数学Ⅰ(数学)	必	20	1
基礎数学Ⅱ(数的推理)	必	60	3
基礎数学Ⅲ(判断推理)	必	60	3
計算実務	必	60	3
総合演習Ⅱ(漢字)	必	60	3
基礎社会Ⅲ(日本史)	選	60	3
基礎社会Ⅳ(世界史)	選	60	3
基礎社会Ⅴ(思想)	選	20	1
基礎社会Ⅵ(地理)	選	60	3
基礎数学Ⅳ(空間把握)	選	60	3
基礎数学Ⅴ(資料解釈)	選	40	2
基礎自然科学Ⅰ(生物・化学)	選	40	2
基礎自然科学Ⅱ(物理・地学)	選	40	2
法学概論	選	20	1
憲法概論	選	20	1
民法概論	選	20	1
行政法概論	選	20	1
経済学概論	選	20	1
財政学概論	選	20	1
政治学概論	選	20	1
行政学概論	選	20	1
社会学概論	選	20	1
経営学概論	選	20	1
適性検査演習	選	40	2
面接試験対策	選	40	2
救急法	選	20	1
一般トレーニング実技	選	30	1
総合演習Ⅳ(ビジネス行動論)	選	20	1
総合演習ⅩⅠ(官庁・企業研究)	選	20	1
総合演習(ワープロ理論、実習)	選	60	3
パソコン実習	選	20	1
アプリケーション基礎知識	選	40	1
OA概論基礎	選	40	1
ネットワーク基礎知識	選	40	1
OA基礎知識	選	40	1
オフィスWord基礎	選	40	1
オフィスWord活用	選	40	1
コンピュータ運用知識	選	50	2
ソフトウェア	選	50	2
ハードウェア	選	50	2
文書実務技能	選	50	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	500時間
選択科目	選択科目より500時間以上履修	500時間
合計		1000時間

公務員学科2年制（2年次）

1 授業時間は50分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
計算実務	必	160	3
一般教養	必	40	1
面接試験対策Ⅱ	必	40	2
総合演習（ワープロ理論・実習）	必	90	3
総合演習Ⅸ（接遇論マナー実践）	必	90	3
接客応対マナー	必	90	3
基礎言語演習Ⅰ（文章読解演習）	選	60	3
基礎言語演習Ⅱ（文章表現演習）	選	30	1
基礎社会演習Ⅰ（歴史演習）	選	80	4
基礎社会演習Ⅱ（思想演習）	選	20	1
基礎社会演習Ⅲ（地理演習）	選	40	2
基礎社会演習Ⅳ（政治経済演習）	選	80	4
基礎社会演習Ⅴ（社会時事）	選	40	2
基礎数学演習Ⅰ（数学演習）	選	20	1
基礎数学演習Ⅱ（数的推理演習）	選	60	3
基礎数学演習Ⅲ（判断推理演習）	選	60	3
基礎数学演習Ⅳ（空間把握演習）	選	60	3
基礎数学演習Ⅴ（資料解釈演習）	選	20	1
基礎自然科学演習Ⅰ（生物・化学演習）	選	40	2
基礎自然科学演習Ⅱ（物理・地学演習）	選	40	2
憲法演習	選	40	1
民法演習	選	40	1
行政法演習	選	30	1
経済学演習	選	30	1
財政学演習	選	30	1
政治学演習	選	30	1
行政学演習	選	30	1
社会学演習	選	30	1
経営学演習	選	30	1
総合演習Ⅱ（漢字）	選	30	1
総合演習Ⅲ（計算技能）	選	30	1
総合演習Ⅳ（ビジネス行動論）	選	40	2
総合演習Ⅶ（卒業研究）	選	40	2
総合演習Ⅺ（官庁研究）	選	60	3
総合演習ⅩⅡ（時事研究）	選	40	2
適性検査演習Ⅱ	選	40	2
パソコン実習Ⅱ	選	30	1
OA 基礎知識	選	30	1
プレゼンテーション	選	30	1
ビジネスマナー	選	30	1
簿記概論	選	40	2
オフィス基礎	選	80	2
オフィス活用	選	80	2
パソコン実習	選	80	3
簿記会計	選	90	3
マーケティング研究	選	60	2
マーケティング概論	選	60	2
給与計算実務	選	60	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	510時間
選択科目	選択科目より490時間以上履修	490時間
合計		1000時間

〈別表6〉（第8条 教育課程・授業時間）

公務員学科1年制（1年次）

1 授業時間は50分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
基礎言語Ⅰ（国語総合）	必	30	1
基礎言語Ⅱ（文章読解）	必	40	2
基礎言語Ⅲ（文章表現）	必	30	1
基礎社会Ⅰ（政治）	必	40	2
基礎社会Ⅱ（経済）	必	40	2
基礎社会Ⅲ（日本史）	必	40	2
基礎社会Ⅳ（世界史）	必	40	2
基礎社会Ⅵ（地理）	必	40	2
基礎社会Ⅶ（社会時事）	必	40	2
基礎数学Ⅰ（数学）	必	30	1
基礎数学Ⅱ（数的推理）	必	60	3
基礎数学Ⅲ（判断推理）	必	60	3
基礎数学Ⅳ（空間把握）	必	60	3
基礎数学Ⅴ（資料解釈）	必	20	1
基礎自然科学Ⅰ（生物・化学）	必	40	2
基礎自然科学Ⅱ（物理・地学）	必	40	2
基礎社会Ⅴ（思想）	選	20	1
総合演習Ⅱ（漢字）	選	30	1
計算実務	選	30	1
総合演習Ⅳ（ビジネス行動論）	選	40	2
総合演習Ⅶ（卒業研究）	選	40	2
総合演習Ⅸ（接遇論・マナー実践）	選	60	3
総合演習Ⅺ（官庁研究）	選	60	3
総合演習ⅩⅡ（時事研究）	選	40	2
面接試験対策	選	40	2
面接試験対策Ⅱ	選	40	2
適性検査演習	選	40	2
一般教養	選	30	1
パソコン実習	選	30	1
OA基礎知識	選	30	1
プレゼンテーション	選	30	1
ビジネスマナー	選	30	1
簿記概論	選	40	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	650時間
選択科目	選択科目より350時間以上履修	350時間
合計		1000時間

〈別表7〉（第8条 教育課程・授業時間）

スポーツ学科2年制（1年次）

1 授業時間は50分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
ビジネスコミュニケーション演習	必	40	1
一般教養	必	40	1
計算実務	必	40	1
ビジネス教養	必	40	1
一般教養基礎知識	必	40	1
プレゼンテーション基礎知識	必	40	1
経営学概論	必	40	1
レクリエーション概論	必	20	1
レクリエーション基礎	必	20	1
レクリエーション指導法	必	20	1
スポーツビジネス研究	必	20	1
キャンプ実習	必	20	1
スポーツ実習Ⅰ	必	20	1
スポーツ実習Ⅱ	必	20	1
販売常識・販売技術	必	20	1
販売事務・商品知識	必	20	1
販売士3級総合	必	20	1
オフィスWord基礎	必	40	1
オフィスWord活用	必	40	1
オフィスExcel基礎	必	40	1
オフィスExcel活用	必	40	1
コンピュータ運用知識	必	20	1
ソフトウェア	必	40	1
ハードウェア	必	40	1
救急救命法	必	20	1
簿記 簿記通論	選1	90	2
簿記 簿記原理	選1	90	2
簿記 3級総合	選1	60	2
簿記 初等工業会計論	選2	50	2
簿記 初等原価計算論	選2	50	2
簿記 帳簿組織論	選2	50	2
簿記 会社会計原論	選2	50	2
簿記 2級総合	選2	40	1
英語	選3	120	3
体育	選3	60	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	760時間
選択科目	選1・3から選択（240時間以上）	240時間
	選2・3から選択（240時間以上）	
合計		1000時間

スポーツ学科 2 年制 (2 年次)

1 授業時間は 50 分

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
一般教養	必	40	1
ビジネス教養	必	40	1
一般教養基礎知識	必	40	1
計算実務	必	160	3
面接試験対策Ⅱ	選1	40	1
ビジネスマナー	選2	120	3
ビジネス実務	選2	120	3
金融概論	選3	60	2
金融構造論	選3	60	2
金融市場論	選3	60	2
金融アドバイザー	選3	60	2
オフィス基礎	選4	80	2
オフィス活用	選4	80	2
パソコン実習	選4	80	3
基本情報総合	選5	40	1
CASL	選5	40	1
C言語基礎	選5	40	1
C言語応用	選5	40	1
アルゴリズム	選5	40	1
BASICプログラミング	選5	40	1
総合演習Ⅸ (接遇論マナー実践)	選6	90	3
接客応対マナー	選6	90	3
簿記会計	選7	90	3
総合演習 (ワープロ理論・実習)	選7	90	3
マーケティング実習	選8	60	2
マーケティング概論	選8	60	2
給与計算実務	選9	60	2
経理事務総合	選9	60	2
プログラミングⅡ	選10	80	2
システム設計	選10	80	2
システム設計演習	選10	80	2
システム開発実習	選10	80	2
プレゼンテーション概論	選10	80	2
卒業研究	選10	80	2
英語	選13	120	3
体育	選13	60	2
経営学概論	選13	60	2
簿記 1級総合	選13	60	2
簿記 高等商業簿記論	選13	60	2
簿記 会計学	選13	60	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	280時間

選択科目	選1・2・3・4・13から選択（240時間以上） 選6（180時間） 選7（180時間） 選8・9から選択（120時間）	720時間
	選1・5・6・7・13から選択（240時間以上） 選10（480時間）	
合計		1000時間

〈別表8〉（第8条 教育課程・授業時間）
こども保育学科2年制（1年次）

授業科目		必選の別	単位数	年間授業時間数	週間授業時間数
教養科目	健康科学	必	1	15	1
	スポーツ（実技）	必	1	30	1
	英語コミュニケーションⅠ	選1	2	60	1
	一般教養	選1	2	30	1
	ビジネス教養	選1	2	30	1
	情報リテラシーと処理技術	選1	2	60	1
	憲法	選1	2	30	1
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	必	2	30	1
	児童家庭福祉	必	2	30	1
	社会福祉	必	2	30	1
	社会的養護	必	2	30	1
	保育者論	必	2	30	1
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	必	2	30	1
	保育の心理学Ⅱ	必	1	30	1
	保育の心理学Ⅲ	選3	2	60	1
	子どもの保健Ⅰ	必	2	30	1
	家庭支援論	必	2	30	1
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	必	1	30	1
	保育内容（健康）	必	1	30	1
	保育内容（人間関係）	必	1	30	1
	保育内容（環境）	必	1	30	1
	保育内容（言葉）	必	1	30	1
	保育内容（表現）	必	1	30	1
	乳児保育Ⅰ	必	1	30	1
保育の表現技術	図画工作	必	1	30	1
	音楽基礎	必	1	30	1
	レクリエーション概論	選3	2	30	1
	レクリエーション指導法	選3	2	60	1
	こどもと音楽	選3	2	30	1
	鍵盤奏法の基礎1	選2	2	60	1
	鍵盤奏法の基礎2	選2	2	60	1
保育実習	保育実習Ⅰ①	必	2	80	2
	保育実習指導Ⅰ①	必	1	30	1
独自科目	コミュニケーション論	選4	1	30	1
必須科目単位数及び授業時間数			31単位	695時間	
選択必須科目単位数及び授業時間数			10単位以上	180時間以上	
総単位数及び総授業時間数			41単位以上	875時間以上	

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	695時間
選択科目	選1は6単位以上、選2は2単位、選3は2単位以上、選4は任意選択	180時間以上
合計		875時間以上

こども保育学科2年制（2年次）

授業科目		必選の別	単位数	年間授業時間数	週間授業時間数
保育の本質・目的に関する科目	教育原理	必	2	30	1
	相談援助	必	1	30	1
	保育原理Ⅱ	選3	2	30	1
	児童家庭福祉Ⅱ	選3	2	30	1
保育の対象の理解に関する科目	子どもの保健Ⅱ	必	2	30	1
	子どもの保健Ⅲ	必	1	30	1
	子どもの食と栄養	必	2	60	1
	こども学概論	選3	2	30	1
	こどもと文学	選3	2	30	1
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	必	2	30	1
	乳児保育Ⅱ	必	1	30	1
	障害児保育	必	2	60	1
	社会的養護内容	必	1	30	1
	保育相談支援	必	1	30	1
	保育方法論	選3	2	60	1
保育の表現技術	言語表現	必	1	30	1
	小児体育	必	1	30	1
	小児体育Ⅱ	選3	2	60	1
	造形表現1	選3	2	60	1
	造形表現2	選3	2	60	1
	児童レクリエーション概論	選3	2	30	1
	音楽表現1	選1	2	60	1
	音楽表現2	選1	2	60	1
	鍵盤奏法の応用1	選2	2	60	1
	鍵盤奏法の応用2	選2	2	60	1
保育実習	保育実習Ⅰ②	必	2	80	2
	保育実習指導Ⅰ②	必	1	30	1
	保育実習Ⅱ	必	2	80	2
	保育実習指導Ⅱ	必	1	30	1
総合演習	保育実践演習	必	2	60	1
独自科目	卒業研究	選択4	1	30	1
必須科目単位数及び授業時間数			25単位	700時間	
選択必須科目単位数及び授業時間数			6単位以上	150時間以上	
総単位数及び総授業時間数			31単位以上	850時間以上	

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	700時間
選択科目	選1は2単位、選2は2単位、選3は2単位以上、 選4は任意選択	150時間以上
合計		850時間以上

〈別表 9〉 (第 8 条 教育課程・授業時間)

保育専攻学科 1 年制 (1 年次)

授業科目	必選の別	年間授業時間数	週授業時間数
漢字・一般常識	必	60	1
パソコン実習	必	20	1
コミュニケーション概論 I	必	80	2
音楽基礎	必	80	2
図画工作	必	20	1
ビジネスマナー	必	40	1
ボランティア概論	必	60	2
接遇論マナー実践	必	40	1
卒業研究	必	40	1
実習指導	必	40	1
施設実習	選 1	80	2
マナー接遇基礎	選 2	80	2
社会保険基礎論	必	40	1
小児援助技術 I	必	60	1
小児援助技術 II	必	60	1
小児援助実践	必	80	2
小児保健	必	80	2
障害児援助論	必	40	1
養護内容	必	80	2
合 計		1000	25

【履修方法】

	選択内容	履修時間
必修科目	全科目履修	920時間
選択科目	選 1・2 のいずれかを選択	80時間
合計		1000時間

〈別表10〉（第8条 教育課程・授業時間）
介護福祉学科2年制（1年次）

領域	授業科目	必選の別	年間授業時間数
人間と社会	人間の理解Ⅰ	必	30
	人間の理解Ⅱ	必	30
	社会の理解	必	60
介護	介護の基本Ⅰ	必	30
	介護の基本Ⅱ	必	30
	介護の基本Ⅲ	必	30
	介護の基本Ⅳ	必	30
	介護の基本Ⅴ	必	30
	介護の基本Ⅵ	必	30
	コミュニケーション技術Ⅰ	必	30
	生活支援技術の基本	必	60
	日常生活介護Ⅰ	必	30
	日常生活介護Ⅱ	必	30
	日常生活介護Ⅳ	必	30
	介護過程Ⅰ	必	30
	介護総合演習Ⅰ	必	40
	介護総合演習Ⅱ	必	40
	介護実習Ⅰ	必	120
介護実習Ⅱ	必	160	
こころとからだのしくみ	障害の理解	必	60
	こころとからだのしくみⅠ	必	30
	こころとからだのしくみⅡ	必	30
	こころとからだのしくみⅢ	必	30
年 間 時 間 数			1020時間

必は必修科目を表す。

介護福祉学科 2 年制（2 年次）

領域	授業科目	必選の別	年間授業時間数
人間と社会	レクリエーション概論	必	30
	レクリエーション指導法	必	40
	社会常識	必	30
	情報科学演習	必	30
	人間と社会の総合	必	30
介護	コミュニケーション技術Ⅱ	必	30
	居住環境	必	30
	家事介護	必	30
	日常生活介護Ⅲ	必	30
	日常生活介護Ⅴ	必	30
	利用者の状態・状況に応じた介護技術	必	30
	介護過程Ⅱ	必	60
	介護過程Ⅲ	必	60
	介護総合演習Ⅲ	必	40
	介護実習Ⅲ	必	176
	介護の総合	必	90
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	必	60
	認知症の理解	必	60
	こころとからだのしくみⅣ	必	30
	こころとからだのしくみ総合	必	30
医療的ケア	必	78	
年間時間数			1024時間
総授業時間数			2044時間

必は必修科目を表す。

(5) 進級、卒業要件等

本校に在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつ、その該当する所定の授業科目について各学年末における試験に合格して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。

① 経理ビジネス学科（2年制）	1, 700時間
② 情報ビジネス学科（2年制）	1, 700時間
③ 会計専攻学科（1年制）	850時間
④ 医療事務学科（2年制）	1, 700時間
⑤ 公務員学科（2年制）	1, 700時間
⑥ 公務員学科（1年制）	850時間
⑦ スポーツ学科（2年制）	1, 700時間
⑧ こども保育学科（2年制）	1, 725時間
⑨ 保育専攻学科（1年制）	850時間
⑩ 介護福祉学科（2年制）	2, 044時間

(6) 専門士・高度専門士の称号付与

- ① 商業実務専門課程経理ビジネス学科（2年制）を修了した者には「専門士（商業実務専門課程）」の称号を付与する。
- ② 商業実務専門課程情報ビジネス学科（2年制）を修了した者には「専門士（商業実務専門課程）」の称号を付与する。
- ③ 商業実務専門課程医療事務学科（2年制）を修了した者には「専門士（商業実務専門課程）」の称号を付与する。
- ④ 文化・教養専門課程公務員学科（2年制）を修了した者には「専門士（文化・教養専門課程）」の称号を付与する。

(7) 目標とする国家試験、検定試験等

会計系試験：日商簿記検定、税理士試験、公認会計士試験など

情報系試験：基本情報技術者試験、ITパスポート、MOSなど

ビジネス系試験：日商販売士、国内旅行業務取扱管理者など

スポーツ系試験：キャンプインストラクター、NAUIスクーバーダイバー
SAJバッジテストなど

医療系試験：診療報酬請求事務能力認定試験（医科）医療請求事務検定
医療秘書実務検定、調剤薬局事務検定 など

介護系試験：介護福祉士、介護職員初任者研修 など

保育系試験：保育士、レクリエーション・インストラクター など

法律行政学科：各種公務員採用試験

(8) 主たる国家試験、検定試験等の合格実績（平成28年度学園実績）

会計系試験：日商簿記検定 1級 204名、2級 1,076名

税理士試験 11名、公認会計士試験論文式 41名

情報系試験：基本情報技術者試験 207名、応用情報技術者 48名

ITパスポート 233名、MOS 2,242名（のべ）

ビジネス系試験：日商販売士 3級 356名、国内旅行業務取扱管理者 55名

スポーツ系試験：キャンプインストラクター 267名

NAUI スクーバダイバー 180名

SAJ バッジテスト3級以上 55名

医療系試験：診療報酬請求事務能力認定試験（医科） 875名

医療請求事務検定 1級 1,304名、2級 1,352名

医療秘書実務検定 1級 1,260名、2級 1,265名

調剤薬局事務検定 377名

介護系試験：介護福祉士 166名、介護職員初任者研修 139名

保育系試験：保育士 232名、レクリエーション・インストラクター 276名

(9) 卒業生の進路（2017年3月卒業生学園実績：2017年3月15日現在）

① 全国専門課程就職率 98.3%（就職希望者5,256名中5,169名）

② 首都圏専門課程就職率 99.2%（就職希望者2,270名中2,252名）

③ 全国専門課程就職率 98.3%（就職希望者5,256名中5,169名）

④ 首都圏専門課程就職率 99.2%（就職希望者2,270名中2,252名）

⑤ 主な就職先

㈱プリンスホテル、㈱京王アカウンティング、イオンリテール㈱、㈱エイチ・アイ・エス

㈱セブン-イレブン・ジャパン、藤田観光㈱、京王電鉄㈱、㈱東証コンピュータシステム

慶應義塾大学病院、東京医科大学八王子医療センター、北里メディカルサービス㈱白金事業部

(学) 慈恵大学、武蔵野赤十字病院、社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院

医療法人新愛会 東府中病院、医療法人社団徳成会 八王子山王病院

三鷹市事務上級、多摩市事務上級、国家公務員一般技術職（皇宮警察本部）

川崎市消防（大卒）、海上保安学校学生、甲府地区消防組合消防官（中級）

特別区Ⅲ類（新宿区）、国家公務員一般職（外務省）、山梨県警中級、法務省、法務教官

警視庁警察官Ⅰ類、刑務官A、埼玉県南西部消防、東京消防庁、綾瀬市中級、魚沼市事務上級

東京労働局、警視庁事務、神奈川県警察官B、都庁Ⅲ類、国土交通省東京航空局

他多数の優良企業・病院・公官庁に内定

3. 教職員

(1) 教職員数

学則に規定する下記の教職員が在席しています。

校長1名 教員27名以上 事務職員4名以上 学校医1名以上

(2) 教職員の専門性

① 保有資格：日商簿記1級または基本情報技術者試験と同等以上の資格を有する。

② 教員研修：企業等と連携し以下の教員研修を実施して、教員の専門性を維持向上させている。

(ア) 専門知識 マーケティング、プログラミング、会計知識、スポーツ

(イ) 指導力 講義力研修

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育

大原学園では学生一人ひとりの「幸せな就職」をテーマに、就職後に即戦力として活躍するためのキャリア教育を入学時のカリキュラムに取り入れ実践しています。主なものは以下のとおりです。

① 入学時：就職ガイダンス（将来の目標確認）

② 1年生4月～7月：就職の心構え、自己分析、SPIP-3対策テスト（MSR-PⅠ・Ⅱ）

③ 1年生8月～12月：自己分析、自己PR作成、面接練習、業界研修・企業研究

- ④ 1年生1月～3月：学内企業セミナー、業界研修・企業研究
- ⑤ 2年生4月～8月：学生個人の特性を考慮した就職求人紹介
- ⑥ 2年生9月～1月：P・C・P（プレ・キャリア・プログラム）教育

(2) 実習・実技等

大原学園では実習、実技に注力し、実践的な教育カリキュラム編成を行なっています。様々な実習実技がありますが特に以下の実習では、カリキュラム編成、実習運営、成績評価について、企業と連携した実践的な講義内容となっています。

授業科目	対象	年次	履修時間	連携企業
販売技術実習	経理ビジネス学科 販売・営業サービスコース ファッション&雑貨ビジネスコース 総合キャリアコース	1年次	20時間	株式会社 AOKI 株式会社コナカ 株式会社タカキュー
マーケティング実習 卒業研究	経理ビジネス学科 全コース選択可	2年次 2年次	60時間 60時間	イオンリテール株式会 社
経理事務総合	経理ビジネス学科 全コース選択可	2年次	60時間	山口一雄税理士事務所
プログラミングⅡ システム設計演習 システム開発実習 卒業研究	情報ビジネス学科	2年次 2年次 2年次 2年次	80時間 80時間 80時間 80時間	ジャパンシステム株式 会社
スポーツ実習 (ダイビング、キャンプ)	スポーツコース	1年次	45時間	有限会社セブンシーズ 株式会社ルネサンス
病院実習	医療事務学科	1年次	100時間	社会医療法人財団大和 会 東大和病院 等
病院実習Ⅰ	医療事務学科	2年次	50時間	医療法人財団慈生会 野 村病院 等
病院実習Ⅱ	医療事務学科	2年次	60時間	医療法人財団 立川中央 病院 等
基礎社会Ⅱ(経済)	公務員学科	1年次	40時間	日本大学

(3) 就職支援等

大原学園では学生の就職活動が円滑に進むように、多くの企業と連携して学内イベント等を開催しています。また、学生が不安なく就職活動に臨めるように、担任が準備から実際の活動まで様々なサポートを行います。

① 企業等と連携した支援

- (ア) スーツセミナー
- (イ) 学内企業セミナー
- (ウ) 学内採用説明会・採用試験

② 担任による就職支援

- (ア) 自己分析面談、自己 PR 作成支援
- (イ) 求人紹介
- (ウ) 志望企業研究支援

5. 様々な教育活動、教育環境

大原学園では資格取得教育のみならず、多彩な学校行事や課外活動を通じて学生のコミュニケーション能力、企画力、実行力等の社会適応能力の育成に注力しています。

(1) 学校行事

4月・・・入学式、オリエンテーション（1年生対象）

5月～11月・・・フレッシュマン研修（1年生対象）

10月・・・スポーツフェスティバル

11月・・・AOCC 電卓競技大会、大原学園首都圏対抗軟式野球大会、大原学園東西対抗野球大会

12月・・・海外研修

1月・・・スキー&スノボツアー

3月・・・卒業式、卒業記念パーティー（卒業生対象）

(2) 課外活動

① クラブ活動

野球部・・・専門学校野球大会出場、大原学園軟式野球大会

サッカー部・・・専門学校サッカー大会出場

バドミントン部・・・専門学校バドミントン大会出場

吹奏楽部・・・スポーツフェスティバルでの演奏、定期演奏会（1月）

② 地域貢献

立川南口商店街を中心とする各種行事・イベントのボランティア活動への参加

6. 学生の生活支援

大原学園では学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるように様々なサポートを行なっています。

(1) 完全担任制

完全担任制により出席管理、生活指導、進路指導を行っており、個人面談の機会を多く設け学校生活における様々な悩みを担任と共に解消していく環境を整えております。また、定期的なアンケートを実施して充実感、不安感などの把握にも務めています。

(2) 就職教育

「幸せな就職」をテーマにして担任は学生の特性を引き出すための個人面談を継続的に実施します。その上で、求人紹介は担任が責任を持って行い、就職内定先とのミスマッチを最低限に抑えられるように取り組んでいます。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金

入学金：200,000円

(入学手続き時に納入)

(単位：円)

系統・コース	納入 時期 費目	1年次			2年次			総合計
		前期	後期	1年次合計	前期	後期	2年次合計	2年間合計
		入学手続き時	2018年8月31日		2019年2月28日	2019年8月31日		
■ビジネス系	授業料	340,000	340,000	680,000	340,000	340,000	680,000	1,360,000
	教材費	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	160,000
	維持費	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	240,000
	実習・演習費	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000	200,000	400,000
	計	540,000	540,000	1,080,000	540,000	540,000	1,080,000	2,160,000
■会計士・税理士系 ■公務員系	授業料	340,000	340,000	680,000	340,000	340,000	680,000	1,360,000
	教材費	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	160,000
	維持費	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	240,000
	実習・演習費	70,000	70,000	140,000	70,000	70,000	140,000	280,000
	計	510,000	510,000	1,020,000	510,000	510,000	1,020,000	2,040,000
■クリエイター系	授業料	340,000	340,000	680,000	340,000	340,000	680,000	1,360,000
	教材費	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	160,000
	維持費	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	240,000
	実習・演習費	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000	600,000
	計	590,000	590,000	1,180,000	590,000	590,000	1,180,000	2,360,000
■医療系 メディカルスポーツコース除く	授業料	340,000	340,000	680,000	340,000	340,000	680,000	1,360,000
	教材費	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	160,000
	維持費	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	240,000
	実習・演習費	45,000	45,000	90,000	45,000	45,000	90,000	180,000
	計	485,000	485,000	970,000	485,000	485,000	970,000	1,940,000
■こども系 注) こどもスポーツコース除く	授業料	340,000	340,000	680,000	340,000	340,000	680,000	1,360,000
	教材費	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	160,000
	維持費	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	240,000
	実習・演習費	20,000	20,000	40,000	20,000	20,000	40,000	80,000
	計	460,000	460,000	920,000	460,000	460,000	920,000	1,840,000
■福祉系 介護福祉士コース	授業料	340,000	340,000	680,000	340,000	340,000	680,000	1,360,000
	教材費	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	160,000
	維持費	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000	200,000	400,000
	実習・演習費	50,000	50,000	100,000	50,000	50,000	100,000	200,000
	計	530,000	530,000	1,060,000	530,000	530,000	1,060,000	2,120,000

注) 保育士・幼稚園教諭 子ども遊び研究コース、保育士・幼稚園教諭 子ども音楽コース、保育士・幼稚園教諭 子ども心理・養護コース、こどもスポーツコースは、短期大学との併修が必要です。

(2) 奨学金、授業減免等

① 試験による特別奨学生制度

大原学園では、がんばる人を支援するために「試験による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原独自の特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。詳しいご紹介については HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/senmon/dokujishien/>

② 資格・クラブ活動による特別奨学生制度

大原学園では、がんばる人を支援するために「資格・クラブ活動による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原学園入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。詳しいご紹介については HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/senmon/dokujishien/>

③ 留学生を対象とした学費減免制度

高い目的意識を持って大原学園で学ぼうとする留学生を応援する制度です。一定の条件を満たした方は推薦制度を利用して学費の減免が受けられます。詳しいご紹介については HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/ryugaku/>

④ その他

国の教育ローン、日本学生支援機構の奨学金等の公共機関等の制度のご紹介も行っていますので、ご相談ください。

8. 学校の財務

HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2017/financial-overview.pdf>

9. 学校評価

HP で公開しております。

<http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2017/evaluation/02-07.pdf>

10. 国際連携の状況

(1) 留学生の受入

① 入学手続き（資格・選考）について

(ア) 日本語能力試験 N1 以上が出願資格になります。また、日本語での講義についていけるかどうかを確認するための面接試験を行います。

(イ) 一定の条件を満たす方は留学生推薦制度による学費減免を利用することが出来ます。

② 入学後の生活について

(ア) 日本での就職を目指して、日本語補講や各種資格取得を目指します。全ての学習内容について、担任の先生がサポートを行います。日本語能力試験については全員が N1 レベルに合格できるように補講体制を整えています。

(イ) 様々な学校行事を通じて、日本人学生との交流が出来ます。また、日本文化に触れてもらうための課外授業や町内行事への参加も行います。

③ 卒業後の進路について

日本企業への就職だけでなく、大学、大学院への進学者もいます。

(2) 外国の学校等の提携状況

大原学園では、東北财经大学、北京理工大学珠海学院、四川師範大学、武漢平成日本語培訓大学等と提携して留学生の受入を行っています。

【学校情報の提供に関するお問い合わせ先】

大原学園では、本学園の情報提供指針に基づいて情報を公開しております。

<問合せ先>

学校法人 大原学園 大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校

〒190-0014 東京都立川市緑町4-8 TEL 042-528-8023